4　沿線の観光地

鵜山の七曲り(家山駅)，寸又峡，接岨峡，井川ダム，南アルプス(千頭駅)。(嵯峨野福次)

おおいたこうつう　大分交通

1　事業者の概要

名称　大分交通株式会社，本社　大分市大字勢家，資本金17,100万円，おもな事業　地方鉄道・軌道・旅客自動車運送（一般乗合717km，貸切，乗用）・貨物自動車運送(一般路線，一般区域)。鉄道・軌道従事員684人，保有車両(地方鉄道)蒸気機関車8，内燃機関車6，内燃動客車12，客車39，貨車65両。(軌道)電動客車35両。

沿革　明治29・10，資本金10万円で豊州電鉄株式会社設立，同33・5別府・大分間軌道線の一部を開業，同39・1豊後電鉄株式会社へ譲渡，大正5・4九州水力電気株式会社へ合併，昭和2・6鉄道部門を分離し別府大分電鉄株式会社として発足，大分駅前・亀川間19kmを全通す。同20・4国東鉄道（大正3・3設立，国東線），宇佐参宮鉄道（大正3・3設立，宇佐参宮線），豊州鉄道（明治45・6設立，豊前善光寺・豊前二日市間），耶馬渓鉄道（明治45・6設立，耶馬渓線）および別杵自動車，宇佐参宮バスの諸会社を合併し，大分交通株式会社と社名変更，同28・9豊州線豊前善光寺・豊前二日市間を営業廃止し現在に至る。

2　地方鉄道線

開業線　全線大分県にあり国鉄日豊本線中津，杵築，宇佐の各駅に連絡，延長75.2km単線，動力蒸気・内燃，軌間1.067m，旅客・貨物運輸を目的とする。

耶馬渓線　中津・守実間36.1km，明治44・7・28および大正11・5・30免許，大正2・12・26から同13・6・16までに全通。国東線　杵築・国東間30.3km，大正5・12・24免許，同8・7・11から昭和10・11・30までに運輸開始。宇佐参宮線　豊後高田・宇佐八幡間8.8km，明治45・5・1免許，大正5・3・1運輸開始。

未成線　国東・富来間4.9km，国東線の延長線，動力蒸気・ガソリン，軌間1.067m，大正5・12・14免許，同6・10着工，未竣工（みしゅんこう）。

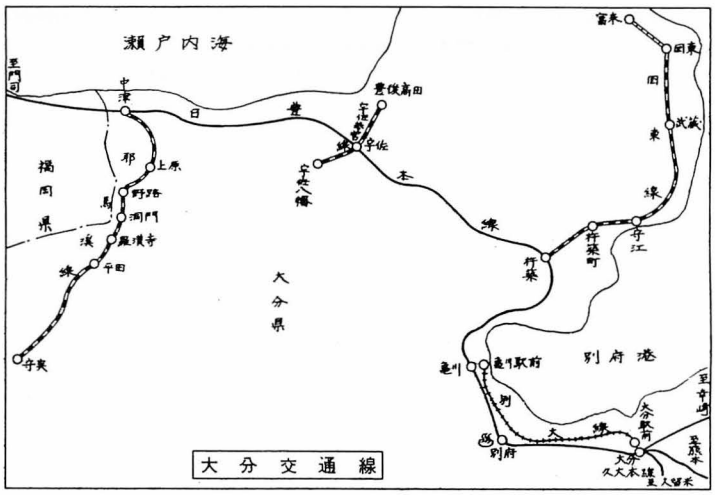
3　軌道線

別大線　大分駅前・亀川駅前間19km複線（一部6.4km単線）動力電気，軌間1.067mの併用軌道，旅客運輸を目的とする。明治27・11から昭和3・5までに特許，明治33年より昭和17・3までに全線開通。

4　運輸概況

(地方鉄道)

項目＼年度	昭和28	29	30
旅客輸送人員(千人)	5,046	5,103	5,247
人キロ(千)	41,300	41,114	41,271
貨物輸送トン数(千t)	170	137	140
トンキロ(千)	1,918	1,544	1,606
旅客収入(千円)	120,524	121,142	122,860
貨物収入(〃)	36,165	30,978	31,236
運輸雑収(〃)	3,110	3,195	3,631
収入合計(〃)	159,799	155,315	157,726
営業費(〃)	165,173	158,695	173,611
営業利益(〃)	△ 5,374	△ 3,380	△ 15,885
営業係数(%)	103	102	110



大分交通線

(軌道)

項目＼年度	昭和28	29	30
旅客輸送人員(千人)	11,434	11,699	12,176
人キロ(千)	80,710	81,893	85,476
旅客収入(千円)	143,930	151,169	155,506
運輸雑収(〃)	1,351	1,340	2,492
収入合計(〃)	145,282	152,509	157,998
営業費(〃)	126,249	124,562	134,375
営業利益(〃)	19,033	27,947	23,623
営業係数(%)	87	82	83

5　沿線の観光地

耶馬渓(洞門，羅漢寺，柿坂駅)，高崎山(別大線高崎山別院前，野生猿の群棲地)。(嵯峨野福次)

おおいとせん　大糸線　篠ノ井線松本駅から中部山岳国立公園の山岳地帯の東側を北上し北陸本線糸魚川駅に至る105.4kmの線。中央線に属し線路等級は松本・信濃大町間は丙線，信濃大町・中土間は簡易線，中土・小滝間は丙線，小滝・糸魚川間は簡易線である。松本・信濃大町間旅客運輸は電車化されている。

沿線には北アルプス，後立山連峰があり夏山冬山ともににぎわう。線名は大町と糸魚川（いとがわ）との頭文字をとった。

この線の建設は南北両端から進められた。

南側は大正4年信濃鉄道株式会社によって松本・信濃大町間が建設され営業中であったが，政府は松本から糸魚川に至る鉄道の一部として昭和12・6・1これを買収し，線名を大糸南線と改め，つづいて逐次新線を建設中土まで延長した。

北側は昭和9・11北陸本線糸魚川と大糸南線信濃大町を結ぶ鉄道の一部として糸魚川・根知間が建設され大糸北線と命名，つづいて昭和10・12小滝まで延長された。

小滝・中土間の工事はしばらく中断されたが，昭和27・9に至り再開され，32・8・15開通し，大糸南・北線が結ばれ，北陸本線と篠ノ井線を短絡する線が形成された。(森　悌寿)

おおがたかしゃ　大形貨車　貨物の取扱および貨車運用上の必要にもとづいて貨車を大中小形に区別している。

貨車にはその車が負担できる積載重量の最高限度をトン数で標記してあり，このトン数をその貨車の標記トン数という。大形貨車とは，このトン数が20t以上の貨車をいいチキ，トキ等はその代表的なものであるが，国鉄でもっとも大きい貨車は標